

インフォメーション

すべてのお申し込み・お問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター  
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp  
メールでお申し込みの際は、件名を各イベントタイトルとして、氏名・年代・住所・電話番号をお知らせください。

☆ サポセンスタッフから

★ 新着図書が届きました！

サポセン1階、情報サロン奥に図書コーナーがあります。ボランティア活動、NPOの立ち上げ・運営など、市民活動に関する図書や資料など、約1800冊があり、閲覧・貸出を行っています。様々な社会課題を知ることができるもの、活動の悩みを解決するために役立つものをスタッフが厳選。活動の悩みに効く図書をご紹介しますこともできますので、お気軽にお声がけ下さい。(松田)



- 図書の借り方  
窓口で図書資料貸出カードをご提示ください。  
図書の貸し出しは2冊まで。貸出期間は2週間。  
カードをまだお持ちでない方は、身分証明書のご提示でその場で発行できます。  
※一部貸し出しできない図書もあります。ご了承ください。

サポセンスタッフから

★ 「ハジマルフクラムプロジェクト」もうすぐはじまります！



ハジマルフクラムプロジェクトは、仙台のまちを面白くするワクワクビトの話や活動事例を伺うトークイベントです。毎回、何人かのワクワクビトをゲストに、集まった人たちと「自分たちが住むまちをもっと良くするには?」「面白くするには?」と、様々なアイデアを交換する広場です。詳細は、サポセンホームページやチラシなどでお知らせします。どうぞ楽しみに。(松村)

仙台市市民活動サポートセンター ロッカー・レターケース使用者募集

使用期間：平成28年9月1日～平成29年8月31日  
対象：継続的に市民公益活動を行っている団体(事業者を除く)  
申込み：仙台市市民活動サポートセンターで配布する申込書、団体紹介シート、システム情報入力シートを1階窓口にお持ちください。(ホームページからもダウンロードできます)※ロッカー使用者は公開抽選会で決定、レターケース使用者は先着順  
問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター TEL 022-212-3010

貸出/数	使用期間	費用	申込
ロッカー(大)/10[抽選]	平成28年9月1日～平成29年8月31日	1,200円/月	申込受付期間：平成28年7月7日(木)～7月22日(金) 午前9時～午後9時まで(日・祝は午後5時まで) サポセンにて受付
ロッカー(中)/28[抽選]		800円/月	
ロッカー(小)/80[抽選]		400円/月	
レターケース/168[先着]		無料	

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは  
様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください  
ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日	7月13日(水)・27日(水)
開館時間	月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日	毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042  
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分  
[HP]http://www.sapo-sen.jp [Blog]http://blog.canpan.info/fukkou/ [Twitter]@sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターが仙台の市民団体を取材しに行きます！  
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/writer>

情報ボランティア@仙台の学生記者がワクワクビトを取材しています！  
<https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16>

- ▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。
- ▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート]サポセンホームページからアクセス  
いただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター  
発行日 2016年7月1日  
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター  
デザイン PEACE Inc.  
編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 葛西 淳子 松村 翔子  
発行部数 3000部  
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

# ぱれっと 7

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2016 No.203

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の  
ワクワク  
ビト THE EAST TIMES  
あんどう あゆみ  
編集長 安藤 歩美 さん(28)

埋もれた話題を掘り起こす  
ネットを駆使して東北発信

「埋もれているニュースを掘り出したい」。安藤歩美さんは、東北の話題を発信するニュースサイトを運営しています。心掛けているのは実際に現地に足を運ぶこと。地元の人が見逃しがちな話題を足で稼いで掘り起こしては、文章や写真、動画で発信しています。

2011年の冬、当時大学院生の安藤さんはボランティアとして東日本大震災で被災した女川町を訪れました。現地の人と話すうちに「人と近い仕事が見たい」という思いが膨らみ13年春、全国区の新聞社に入社。仙台支社で2年間記者を務めました。すると今度は「新聞という枠にとらわれず、表現の自由度が高いネットの世界で被災地報道を深めたい」と夢が広がり、15年6月に現在の活動を始めました。

目指すのは、東北の情報を一括するサイトとなって、全国に共有すること。東北中の埋もれた面白いニュースを発掘するため、東北の各市町村に志を同じくする市民記者のネットワークを築くことを目標に掲げています。

取材・文 及川愛結(宮城学院女子大学4年)

特集  
路地で育む、  
自分たちの仙台七夕

合同会社 THE EAST TIMES(イーストタイムズ)  
HP <http://times.the-east.jp> MAIL [ayumi.ando@the-east.jp](mailto:ayumi.ando@the-east.jp)

サイトは、安藤さんともう1人の社員2人で営む合同会社で運営。安藤さんは発信を通して読者に「被災地の現状は誰にでも当てはまる身近な問題に繋がっているかもしれない」という気づきをもたらしたいと願っています。今年2月には「TOHOKU360」という動画サイトも開設しました(tohoku360.com)。現場にいるような新鮮な感覚をもたらす特殊な広角動画で、読者・視聴者の当事者意識を刺激します。





# 路地で育む、自分たちの仙台七夕

東北を代表する祭りのひとつとして毎年8月6日～8日の3日間、仙台市中心部で開催され、200万人もの観光客が訪れる仙台七夕。商店街のメインストリートに豪華な七夕飾りが並ぶ中、一本路地に入ると、市民が伝統的な仙台七夕の由来や歴史をいちから学び、自分たちの手で七夕を楽しもうという人々に出会うことができます。地元の商店主と市民団体や会社員、学生、留学生など様々な主体が関わる新たな文化発信の取り組みを紹介します。

留学生に仙台の良さを伝えたい



Peace Nuts(ピースナッツ)  
さきき みほ  
代表 佐々木美帆 さん

若者や外国の人に和文化を発信したい



一般社団法人梅部  
なかの ゆみ  
代表 中野由美 さん

仙台の伝統を生かしたまちづくりがしたい



有限会社 彦いち  
みやざき かずひこ  
代表取締役 宮崎一彦 さん

## 地元商店主が抱くまちづくりの思い

「昭和の時代は店の包装紙を利用し、家族や従業員総出で七夕飾りを作っていました」と話すのは、老舗甘味処「彦いち」などを経営する宮崎一彦さんです。一番町四丁目のアーケードから一本入った路地、通称「彦いち通り」に店を構え、店先の私有部分をちょっとしたイベントができるよう開放しています。仙台七夕の時、仙台の商店街ではアーケードに面した店舗が1棟ずつ七夕飾りを出すことになっています。飾り作りはもちろん、大竹を立てるところから、期間中飾りの上げ下げ、突然雨が降った際の対応もすべて商店街と協力して店の人たちが行います。単に飾るだけではなく、技術と労力が必要です。そのため、最近では七夕飾りを出すこと自体が難しいケースが出てきています。

宮崎さんが所有するアーケードに面した店舗も、諸事情により七夕飾りを出せない状況にありました。「何としても七夕文化を継続させたい」という思いから、七夕飾りを出してくれる人を探していた時、白羽の矢を立てたのが一般社団法人梅部代表の中野由美さんでした。

## 仙台七夕への思いが180度変わった

「七夕期間中は人で混雑するし、それほど興味がなかった」と中野さ

んは仙台七夕の印象を語ります。宮崎さんとは2012年、彦いち通りに和文化を発信するお店「梅らぶ」を構えてからのお付き合いです。中野さんは、和文化に興味があり、若者や外国人を対象に着物文化を伝えるイベントを数多く行って行っていました。宮崎さんの思いに押し寄せ、「おもしろそう…」と制作に挑戦することを決意しました。

決めたからには何事も徹底して実行するタイプ。まずは、仲間を集め、七夕飾りの専門家に伝統の七夕作りを教えてもらいました。大きな竹を立ち上げるため滑車を取り付けたりする術は、商店街の経験者に教わりました。飾り一つひとつ手作りするところから、開催期間中は付き切りで管理し、商店街の人たちや仲間たちと奮闘するうちに、「主体的に参加すると、こんなに楽しいのか」と、中野さんの仙台七夕に対する思いが180度変わりました。試行錯誤しながら作った七夕飾りは、出展1年目にして商店街で「優秀賞」に輝きました。

## 場を開き、七夕文化を伝える

一方、彦いち通りでは、「仙台の七夕文化を伝えよう」と、様々な市民団体とのコラボ企画が行われるようになりました。国際交流活動をしている学生団体Peace Nutsとの取り組みもその一つです。使い



伝統文化を介して創る市民参加のまちづくり



- 連絡先  
 ・有限会社 彦いち 〒980-0805 仙台市青葉区大手町9-3 TEL 022-266-7877  
 ・一般社団法人 梅部 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-5-41 TEL 050-1142-2588 Mail umeluv88@gmail.com  
 ・PeaceNuts Mail Peace8nuts@yahoo.co.jp Facebook Peace Nuts

終わった吹流しを再利用し、クリスマスカードやお正月のぼち袋を作るワークショップを行ったところ、外国の方や留学生に大変好評でした。代表の佐々木美帆さんは、「仙台に住みながら、七夕飾りを作った経験はありませんでしたが、ワークショップを通して自分たちでお祭りを作っているという実感がわきました」と言います。

今年の飾りのコンセプトは「外国人から見た日本の和」。市民、学生、外国人など多くの人を巻き込んで作る七夕飾りに注目です。仙台七夕に作り手として関わることで、今まで無関心だった人も思いを深めることができます。これからも、「みんなが参加する七夕」を味わうことができる交流の場をめざします。メインストリートはもちろん、彦いち通りでも、市民参加の催しで賑わいそうです。(取材・文 鈴木美紀)

### ここチェック

そのむかし仕掛けモノは、仙台七夕の楽しみのひとつだった～七夕の仕掛けモノを作ろうプロジェクト2016～

昭和の時代、仙台の七夕では仕掛けモノと呼ばれるからくり人形が人気を集めていました。今年、市民有志と地域の子どもたちの手によって、昔ながらの仕掛けモノが復活します。  
 開催日時:8月6日(土)～8日(月)仙台七夕と同時開催 午前10時頃～午後8時頃(屋外のため天候により中止の場合があります)  
 場所:仙台市青葉区一番町4丁目 甘味処彦いち前(彦いち通り)  
 事務局022-354-1990(梅鉢屋内、土日のみ)  
 Facebook https://www.facebook.com/shikakemono2016

# 小さな図書館から生まれる無限の世界

市民ライター 齊藤利直

本を読みたい時には、公共図書館や大型書店に足を運ぶことが多いと思いますが、最近「マイクロライブラリー」が、本好きの心をくすぐる新たな場所の一つになりつつあります。マイクロライブラリーとは、自宅やお店、オフィスの一角に本棚を置くだけで、誰でも気軽に始められる小さな私設図書館のこと。

この小さな私設図書館を宮城県内に広げる活動をしているのが「冒険図書館プロジェクト」です。仕掛け人は、代表の桃生和成(ものうかずしげ)さん。県内でまだ普及していないことを知り、2015年の夏に立ち上げました。「地域のいろいろな場所で本を借りることができれば、新しい場所や知らない場所へ足を運ぶきっかけにもなります」。桃生さんとメンバーらの声掛けによって作られた拠点は、現在16ヶ所におよびます。



▲エフエムたいはくの中にある「789文庫」は、貸出しノートに記入するだけで、好きな本を借りることができます。

設置する場所や運営する人によって特徴が変わるマイクロライブラリー。「プロジェクトの目的は数を増やすことではなく、まちに暮らす人々の日常を変えていくこと」と、本を介して地域の魅力を発見したり、本を貸し借りすることで自然にコミュニティが作られていくことを桃生さんは期待しています。本の世界は個々で完結しがちですが、これからは、人と人がつながる新しい世界が広がります。

- 連絡先  
 冒険図書館プロジェクト  
 TEL 090-6450-3219  
 Mail k.monou1982@gmail.com  
 Facebook  
 https://www.facebook.com/adventurelibrary

### お役立ち本 手に取るように環境問題がわかる本

著者:オフィステキスト/出版社:かんき出版

東日本震災以降、資源リサイクルや再生可能エネルギー、環境に配慮した生活への関心が高まっています。本書は持続可能な社会づくりのための基礎知識を紹介しています。排気ガスやPM2.5などの大気汚染や、工業社会が引き起こす水質・土壌汚染が私たちの生活にどんな影響を与えるのか…。いま起きている環境問題のメカニズムを詳しく解説し、次世代にどんな社会を残すべきかを教えてくれる一冊です。



### 子どもたちのよき相談相手に 学習支援ボランティアをしてみませんか! NPO法人アスイク

経済的な問題などで学習が困難な中学生の放課後学習サポートを行っています。子どもたちに寄り添い、「安心して勉強ができる環境がほしい」という願いを応援してくれるサポーターを募集しています。高校生・大学生、社会人も歓迎です。現場見学も可能です。  
 問い合わせ:NPO法人アスイク 学習支援ボランティア担当  
 TEL 022-781-5576 Mail info@asuiku.org

